

基本データ



【略 史】

6世紀末 スラブ人(スロベニア人)定住開始
(その後、アヴァール王国等異民族による支配が続く)

1282年 ハプスブルグ家の所領となる
(以後1918年までハプスブルグ帝国領)

1918年 セルビア人・クロアチア人・スロベニア人王国の一部となる

1945年 ユーゴの構成共和国の一つとして発足

1991年 独立と主権を宣言

1992年 EU各国等が国家承認

2004年 NATO及びEU加盟

2007年 ユーロ参加

2008年 EU議長国を務める

2010年 OECDに加盟

人口 : 約206万6千人(2016年10月)

面積 : 20,273km²
(四国とほぼ同じ)

首都 : リュブリャナ
(人口約29万人)(2016年)

民族 : スロベニア人 83.10%
セルビア系 1.98%
クロアチア系 1.81%
ボスニア系 1.10%
ハンガリー系 0.32%
イタリア系 0.11%
その他 11.58%
(出典: 2002年国家統計局)

公用語 : スロベニア語

宗教 : カトリック 57.8%
イスラム教 2.4%
セルビア正教 2.3%
プロテスタント 0.8%
その他 37.7%
(出典: 2002年国家統計局)

政体 : 共和制

政府 : ボルト・パホル大統領
ミロ・ツェラル首相

議会 : 二院制(国民議会と国民評議会)

GDP : 385億ユーロ(2015年)
(GDP/人は18,680ユーロ)

- スロベニア共和国は、旧ユーゴを構成していた6共和国の一つ。
- 6世紀からスラブ系のスロベニア人が定住を開始、アヴァール王国、ハプスブルグ帝国等の支配を経て、1918年にユーゴ王国の一部となり、第二次大戦後はユーゴ連邦を構成する共和国となった。
- 1991年6月に独立を宣言。これに伴い国境管理を巡って旧ユーゴ連邦軍との間で10日間の武力衝突が発生したが、ECの調停により停戦が成立。
- 1992年以降、EU諸国等により次々と国家承認された。
- その後、民主化・経済改革を進め、2004年3月にNATO加盟、5月にEU加盟を果たした。2007年1月にユーロ参加、同年12月にシェンゲン加入を果たし、2008年前半にはEU議長国を務めた。

【2017年3月現在の国民議会の構成(政党別)】

国民議会議席配分（全90議席）		
連立与党		52
現代中央党（SMC）	党首：ミロ・ツェラル	35
年金者党（DeSUS）	党首：カルル・エリヤヴェツ	11
社会民主党（SD）	党首：デヤン・ジダン	6
野党		36
民主党（SDS）	党首：ヤネス・ヤンシャ	19
左派連合（ZL）		6
新スロベニア（NSi）	党首：リュドミラ・ノヴァク	6
無所属		5
その他		
少数民族代表		2

注：

2014年9月、現代中央党(SMC)、年金者党(DeSUS)、社会民主党(SD)の3党連立による中道左派政権が発足。